



ながおかし議会だより

215号

2020.9.1

編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画中継を配信中 → <https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shigikai/>



新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算などを審議

5月臨時会

5月臨時会が5月14日に開かれました。新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算2件を含む市長提出議案7件を審議しました。

補正予算を可決

- 生活困窮者自立相談支援事業費 1、188万円
- 子育て世帯臨時特別給付金給付事業費 3億5、787万6千円
- ビジネスサポート事業補助金 750万円
- 事業者経営支援商工団体等補助金 1、620万円
- 避難対策事業費 1、300万円
- 学校臨時休業対策費補助金 2、603万円
- ほか

6月定例会

6月定例会は6月16日から29日まで14日間の会期で開かれました。令和2年度一般会計補正予算など市長提出議案等27件を審議しました。

補正予算を可決

- 新型コロナウイルス感染症対策関係経費 22億2、958万3千円
- 日本博・文化資源コンテンツ創生事業関係経費 3、707万8千円
- 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業費 3、062万6千円
- 地域技術高度化促進事業費 1、200万円
- 起業・創業支援事業費 600万円
- 社会資本整備総合交付金事業 4億3、850万9千円
- ほか

7月臨時会

7月臨時会が7月31日に開かれました。令和2年度一般会計補正予算について審議しました。

補正予算を可決

- 新型コロナウイルス感染症対策関係経費 7億2、996万4千円
- 災害対策関係経費 2、400万円

議員表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、3人の議員が表彰されました。



松井一男議員
(在職15年以上)

五井文雄議員
(在職25年以上)

加藤一康議員
(在職25年以上)

議案等の審議結果については、6ページの会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

〈目次〉

補正予算の概要、議員表彰	1
一般質問	2
新しい委員の選任、常任委員会の所管に関する質問	4
政務活動費収支報告	4
特別委員会の中間報告、9月定例会の日程	5
会派別議案等賛否一覧表、市議会の活動状況	6



丸山 勝総 (市民クラブ)

新型コロナウイルス感染症対策と今後の市政運営について

問 任期満了に伴う市長選挙について見解を伺う。

答 市長就任以来多くの皆様により支えられながら、本市の更なる発展のために微力を尽くしてきた。新型コロナウイルス対策が、今後長期戦になることを想定しながら、市民生活と地域経済を守ることを市政最大の課題であると認識している。そして、感染収束後の社会経済情勢に本市を適応させていくためには、あらゆる分野に新しい発想を取り入れ、新しい価値を創造する長岡版イノベーションによって、人材の育成と未来への投資である「新しい米百俵」を

加速させる必要があると考える。市民の皆様のご理解をいただきながら、議員の皆様とともに市政を担う両輪となって窮地を乗り切ることが責務であるとの決意の下、本日ここに市長選への再立候補を表明する。

東京一極集中是正に対する本市の見解を伺う。

答 新型ウイルスの感染拡大は、人や企業が密集する大都会の脆弱性や危険性を浮き彫りにした。このような中で、テレワークのように場所を選ばない働き方の導入もあり、必ずしも大都会に住む必要がないという認識が広まってきている。また、企業の本社機能や製造拠点の地方分散化等が課題になっていると伺っている。こうした流れが本市にとって大きなチャンスであると捉え、企業の地方分散の受け皿づくりにより、U・Iターンの促進につなげていきたい。



笠井 則雄 (共産党市議団)

新型コロナウイルス対策について

問 全小・中学校や児童館等への給湯器の整備と小・中学校の普通教室への換気扇の設置が早急に必要と考えるが、本市の考えを伺う。

答 給湯器の整備については、国の補助制度を活用した整備を検討しているところである。換気扇の設置については、計画的に実施している大規模改修工事の中で整備しているところであるが、窓開けによる換気も徹底して行い、学校での感染防止に努めていく。

住宅リフォーム支援事業補助金の拡充について

問 新型コロナウイルス感染症拡大の影響下における本補助金の現況と経済波及効果について伺う。また、制度の改善や拡充を図り、需要喚起のための再周知を行うべきであると考えているが、本市の見解を伺う。

答 6月5日現在、一般住宅リフォームの申請件数は280件、補助見込額は約1,370万円、予算に対する執行状況は35%となっており、現在も受け付けは継続している。また、これまでの申請分により、総工事費約2億9千万円の経済効果を見込んでいる。今後は新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した需要の回復を後押しする意味で、今年度に限り、過去に本支援事業を利用された方の2回目の申請を可能とする制度の拡充を検討している。市政だより等でも制度の再周知を行い、更なる需要の喚起を図っていく。



松野 憲一郎 (無所属)

新型コロナウイルス感染症対応関連について

問 第2波、第3波に備えた感染症対策について伺う。

答 本市では、基幹病院への設備等の補助やPCR検査センターの立ち上げ支援を行い、医療機能の強化を図ってきた。今後も感染の第2波を考えると、発熱外来の在り方や唾液によるPCR検査、抗原検査や抗体検査等の各種検査の動向を把握して、本市に導入できるものがあれば導入していきたい。また、新潟県や長岡市医師会、市内の基幹病院と綿密に連携を取りながら対策を実施していきたいと考えている。

問 市役所内部における在宅勤務の実施状況や緊急事態宣言解除後の取り組み、今後の環境や制度の整備について本市の見解を伺う。

答 国の緊急事態宣言を受けて4月21日から窓口や学校、消防本部等を除く職場を対象に、在宅勤務や時差出勤等による分散勤務に取り組んでいる。在宅勤務は、感染拡大時の各職場における継続業務の見直しやガイドラインを策定するなどスムーズな実行に努め、5月末までに55の職場で2,372人が実施し、現在も継続して取り組んでいる。今後はテレワーク環境の整備を一層進めるとともに、既存施設を活用したサテライトオフィスやモバイルワークなど、場所や時間を柔軟に活用することによる新たな働き方の本格的な導入に向けて取り組んでいく。



豊田 朗 (市民クラブ)

新型コロナウイルス感染症流行期における災害時の避難対応について

問 長岡方式による住民の避難行動を事前に市側で把握すべきと考えるが、本市の方策を伺う。

答 長岡方式の避難行動は、市民一人ひとりが洪水ハザードマップを確認して、居住する場所の危険性を把握した上で、あらかじめ適切な避難行動を設定していただくものである。このため、市民の方々にハザードマップの使い方、理解を深めていただく必要があり、市政だよりや少人数に絞った出前講座、動画の作成等様々な

方法を工夫しながら丁寧な周知浸透に取り組んでいく。こうした普及活動と併せて、市民の皆様と直接接する中で、避難行動の傾向を把握し、防災対策に生かしていきたい。

在宅避難を啓発する観点からマニュアルの作成や在宅避難訓練の実施が必要であると考え、本市の考えを伺う。

問 長岡方式の避難行動のポイントの一つである在宅避難については、その方法や準備に関する普及啓発が大変重要であると認識している。避難マニュアルの作成や訓練について、今後専門家のアドバイスを他の自治体の事例等を参考にしながら、NPO法人や大学等の防災関係者と連携し、検討していきたい。なお、新型コロナウイルスへの対応と防災対策については、引き続き市政の最優先課題に据えて取り組んでいく。



多田 光輝 (市民クラブ)

新型コロナウイルスによる観光への影響と今後の観光行政について

問 今秋開業予定の道の駅ながおか花火館を含む市有観光施設における感染拡大防止への取り組みについて伺う。

答 観光施設については、新潟県が5月27日に示した「新型コロナウイルスまん延防止に向けた協力のお願い」を踏まえ、現在は県内在住者に限った利用を求めている。また、職員のマスク着用や検温はもちろんのこと、来場者へのマスク着用や手洗いの啓発、消毒液や飛沫防止シートの設置、身体的距離を確保するためのレイアウト変更など、様々な対策を

行っている。花火館についても、花火シアターでの換気や消毒の徹底、密集を防ぐための入場者制限、レストラン等での注意喚起のアナウンスなど、オープンに向けて感染防止対策の準備を進めている。

今後の観光交流拡大に向けた本市の取り組みについて伺う。

答 平成30年度に策定した長岡市観光戦略プランを踏まえ、観光の拠点づくりを進めているところである。観光業自体がコロナ禍で大変な状況にあるが、まずは市民から市内観光や宿泊を始めていただき、その後県内、国内の近隣地域へと範囲を広げながら、市外からの交流人口を増やしていく。いずれはインバウンドも再開するため、その時期を逃すことなく、情報の収集と発信に努める。あわせて、各地域の観光資源の更なる磨き上げや他の自治体や各種団体との連携を強化するなど、感染収束を見据えた準備をしっかり行っていくと考えている。



大竹 雅春 (市民クラブ)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえた長岡市の医療機関への支援や連携について

問 長岡市医師会や長岡歯科医師会への支援や連携について本市の考えを伺う。

答 本市ではこれまで両会に対して提供するなど、必要な支援を行ってきた。また、医療連携会議を立ち上げ、市内かかりつけ医と基幹病院の役割分担をはじめ、市内医療機関が機能不全を起こさないよう必要な方策を協議してきた。今後も引き続き協議を継続し、両会をはじめ関係機関と連携を図り、必要な対策を講じていきたい。

問 医療従事者確保のため、本市単独で医師養成修学資金貸与制度を創設すべきと考えるが、本市の見解を伺う。また、本市による病院内保育所への支援と今後の方向性について伺う。

答 修学資金貸与制度については国や県、大学独自の支援制度があるため、市としての独自の取り組みが効果的なのかを県や医師会等と意見交換を行いながら研究していきたい。医療従事者の児童を預かる病院内保育所のうち認可施設については国・県・市から、認可外施設については主に県から運営費の一部を給付している。このほか、感染症予防対策として、医療用物資の購入費について1施設当たり最大50万円の助成を行う。また、国の第2次補正予算を活用した追加の支援についても現在検討している。病院内保育所の支援の在り方については、今後研究していきたい。

官製談合事件について



諏佐 武史 (無所属)

問 平成27年に新設された技監職だが、刑事確定訴訟記録によると、「執行状況の把握」という職務内容があった。また確定記録によると、特定の政治家に付度する意図が含まれているという証言もあったが、今年の3月議会で土木部長は付度する意図はなかったと確定記録の内容を否定した。この職務内容を一緒に定めたのは当時の副市長だった磯田市長ということである。結果として、磯田市長と定めた職務内容が原因で漏えい起きたわけだが、職務を定めた際、情報やその取り扱いをここまで技監に集中させることによる漏えいの危険性についてどのように考えたか伺う。

答 技監が土木行政の中で円滑に機能するよう職務内容について定めたが、そのことが情報漏えいの危険性につながり得るということは考えつかなかった。結果的にそれがあつた種のリスクを負ったというところは解釈としては成り立つが、当時は全くそのような意識はなかった。

問 再発防止策と事件の内容について、切り分けて市民に説明する必要があると考えるが、事件の原因や背景について、市民に対して説明はなされたのか認識を伺う。

答 事件の要因の検証に当たっては、裁判の傍聴や判決書の確認のほか、職員へのアンケートの実施など、市として可能な調査を行った。

●その他の質問
・新型コロナウイルス対策について

リスク管理と危機管理について



五十嵐 良一 (民成クラブ)

問 洪水ハザードマップの改定がされ、長岡方式の避難行動の策定などが示されたが、市民のリスク管理と危機管理に対する本市の認識について伺う。

答 災害に対して市民一人ひとりが危機意識を持ち、自発的に行動することは非常に大切なことだと認識している。改定した洪水ハザードマップにおいても、自らの命は自らが守る、自分たちの地域は自分たちで守るという自助と共助を前面に打ち出し、市民の方々に呼び掛けている。

柏崎刈羽原発の再稼働について

今後も様々な手段を使い、市民に分かりやすく正確な情報をお伝えしながら災害を正しく恐れ、住民総ぐるみで地域を守るための普及啓発に取り組んでいきたいと考えている。

問 柏崎刈羽原発関係者5人の新型コロナウイルス感染が報告されているが、これに対する東京電力の対応について、本市の認識と研究会の取り組みについて伺う。

答 柏崎刈羽原発関係者における相次ぐ新型コロナウイルス感染者の発生は、原発の安全対策に及ぼす影響が懸念される事案だと認識している。そこで、市町村による原子力安全対策に関する研究会として、新型コロナウイルス感染拡大防止策の実施を徹底し、原発の安全管理に万全を期すよう申し入れている。

学校教育における新型コロナウイルス対策について



池田 和幸 (市民クラブ)

問 感染症の拡大防止のため、各種大会や修学旅行などの学校行事が中止や延期となっている。学校生活の集大成として発表する機会や大切な思い出となる行事の確保や実施に向けて検討する必要があると考えるが、本市の見解を伺う。

答 各種大会や修学旅行などの学校行事は、子どもたちが社会性や道徳性を学ぶ大切な機会であると同時に、小・中学校期における大きな思い出となる大切なものであると認識している。したがって、感染リスクを最小限に抑えながら、各校の実情に合

長岡市における農業の課題について

わせ、可能な範囲で実施することが大切だと考えている。また、各種大会等の中止を受け、本市においても関係団体と協議しながら大会やイベントの実施を検討している。

問 本市の園芸振興について、特産化やブランド化を進めるとともに、それぞれの地域に合った営農を行うことが地域農業の維持、発展につながると考えるが、本市の取り組みについて伺う。

答 農家経営の幅を広げ、安定化を図るためには、園芸の導入や経営規模の拡大は重要であると認識している。大手総合スーパーと連携した枝豆のブランド化や、中・島大口レンコンのGI認証など、これまでの産地化の取り組みが実を結んでいる。今後も、地域の特性や優位性を生かした品目や学校給食向けの野菜の生産を支援していく。



諸橋 虎雄 (共産党市議員)

新型コロナウイルス感染症対策における事業者の営業と市民の暮らしを守る支援について

問 国の持続化給付金の申請サポート会場の利用状況や郵送による申請への考え方、本市の電子申請への支援について伺う。また、白色申告に係る税務署の収受印がなくても受理することや売上高が前年同月比50%以上減という厳しい対象要件の緩和、一度限りではない継続給付を国に求めていただきたいと考えるがどうか。

答 国がハイブ長岡に設置した申請サポート会場は、1日当たり約60人の相談が可能であり、現状はまだ余裕がある。今後、会

場の混雑が起きないように、郵送による申請も含めて国に働きかけていく。電子申請の支援については、これまでも市の相談窓口で対応してきたほか、各地域の商工会が丁寧な対応を行っている。また、税務署の収受印の省略や売上高50%以上減の要件緩和、継続給付なども国に伝えていきたい。

問 介護の現場において新型コロナウイルスの感染を防ぎ、利用者に適切なサービスを提供し続けるためには、国及び地方公共団体の支援が必要と考えるが、本市の見解を伺う。

答 国は、介護従業者に対する慰労金の支給のほか、施設整備のための予算を第2次補正予算で計上している。本市も、独自の支援策として、マスクや手袋、消毒用アルコールを介護現場に配布するとともに、現場の声を聞きながら国への働きかけも含めて必要な対策を実施していく。



池田 明弘 (長岡市公明党)

新型コロナウイルス禍における今後の対応について

問 GIGAスクール構想による児童・生徒1人1台のタブレット端末は、家庭への持ち帰りを行うべきと考える。また、児童館、放課後児童クラブにおいて、端末の活用を図るためのWiFi環境の整備も必要と考えるが、本市の見解を伺う。

答 平常時のタブレット端末の持ち帰りの実施については、その有効性などの十分な検証が必要であり、様々な視点から課題を整理して検討していく。また、児童館、放課後児童クラブのWiFi環境の整備についても、併せて検討していく。

行政のICT化と情報格差対策について

問 新型コロナウイルス禍において行政のデジタル化の遅れがクローズアップされているが、昨年12月に閣議決定された国のデジタル・ガバメント実行計画について、本市の認識と今後の対応について伺う。また、ICT化の推進による社会における情報格差についての認識を伺う。

答 国のデジタル・ガバメント実行計画は、本市が推進する長岡版イノベーションの考え方と合致するものだと認識している。今後、行政サービスのあらゆる分野におけるICTを活用した市民サービスの向上、行政事務の効率化を図っていく。情報格差については、デジタル化の環境整備と併せて、デジタル活用が困難な高齢者等への対面サービスや紙による対応など、しっかりと対策を講じていく。



関 貴志 (無所属)

官製談合事件について

問 平成28年5月24日に、当時の磯田副市長からくじ引き対策の指示が出された。この指示は異常なくじ引き対策が加速するきっかけとなったと考えるが、指示を出し、その報告を聞いた段階で実行に移すのは少し早いという判断を持たなかったのか伺う。

答 特に持たなかった。市議会は、昨年2月に市長に對し、事件の背景や事実を徹底的に検証すること等を全会一致で決議した。その後今年の3月議会で、徹底的な検証は終えたとの認識かと質問したが、直接の答

弁はなかったと思われるので、再度伺う。

答 昨年の2月臨時会において決議がされた際に、市長は「決議を大変重く受け止めており、二度とこのようなことが起きないように、組織を挙げて徹底的に再発防止に取り組んでいく」と述べた。この言葉のとおり、市としても可能な限りの検証を行い、再発防止に全力で取り組んできたところである。

具体的には、職員のヒアリングやアンケート調査、工事積算の現状や過去の入札結果などの調査を行い、検証を行ってきた。また、裁判の傍聴や判決書の確認などを払って情報を収集し、事件の要因の認識に間違いがないことを確認してきた。

●その他の質問
・柏崎刈羽原発の再稼働問題について

※1 GI認証：地理的表示保護制度。生産方法や生産地等の特性が品質と結びついている商品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し、保護する制度のこと。
※2 GIGAスクール構想：児童・生徒の1人1台のPC端末と高速大容量の校内通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する国の構想。
※3 デジタル・ガバメント：必要なサービスが、時間と場所を問わず、最適な形で受けられる社会などを目指し、行政のIT・デジタル化を進める政府の取り組み。

新しい委員を選任しました

6月定例会において議会運営委員会及び常任委員会の委員の選任を行いました。

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

(定数12人 現員12人)
議会運営に関連する事項を協議

- ◎加藤 尚登 ○山田 省吾
- 深見 太郎 田中 茂樹
- 大竹 雅春 池田 和幸
- 五十嵐良一 関 充夫
- 藤井 達徳 諸橋 虎雄
- 古川原直人 松井 一男

常任委員会

総務委員会

(定数10人 現員9人)

地方創生推進部、総務部、財務部、危機管理防災本部、原子力安全対策室、地域振興戦略部、消防本部などに関連する事項を審査

- ◎池田 和幸 ○古川原直人 山田 省吾
- 藤井 達徳 丸山 勝総 関 正史
- 笠井 則雄 関 貴志 加藤 一康

文教福祉委員会

(定数8人 現員8人)

福祉保健部、教育委員会に関連する事項を審査

- ◎深見 太郎 ○関 充夫 多田 光輝
- 中村 耕一 長谷川一作 桑原 望
- 酒井 正春 小坂井和夫

産業市民委員会

(定数8人 現員8人)

市民協働推進部、環境部、商工部、観光・交流部、農林水産部などに関連する事項を審査

- ◎杵渕 俊久 ○荒木 法子 豊田 朗
- 松野憲一郎 池田 明弘 加藤 尚登
- 諸橋 虎雄 松井 一男

建設委員会

(定数8人 現員8人)

都市整備部、中心市街地整備室、土木部、水道局に関連する事項を審査

- ◎田中 茂樹 ○五十嵐良一 神林 克彦
- 諏佐 武史 大竹 雅春 水科 三郎
- 高野 正義 五井 文雄

6月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録、インターネット録画中継をご覧ください。

総務委員会

- 信濃川氾濫に係る早期警戒情報と災害時の情報発信強化の手段
- 指定避難所用のパーティションや段ボールベッドの備蓄状況と今後の備蓄計画
- 変動型最低制限価格制度の現状と今後の制度の在り方に対する考え
- 長岡の暮らしやすさや恵まれた地域資源のアピールによるシティプロモーション
- 柏崎刈羽原発の新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた安全管理等に関する市町村研究会の要請に対する回答の状況
- 道の駅ながおか花火館の指定管理者公募時に公表された指定管理者委託料の考え方
- 指定管理者委託料算定の考え方と新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理者の収支悪化への対応方針
- 新型コロナウイルス感染症の影響により執行が不要となる予算の活用 など

文教福祉委員会

- 新型コロナウイルス感染症の影響による集団検診の実施状況
- 市営住宅への入居の支障とならないよう連帯保証人を不要とすることに対する考え
- 学力アップ応援事業補助金の参画事業者にオンライン学習塾を加えることに対する考え
- 新型コロナウイルス感染症に伴う中学校の各種大会の中止による市独自の企画
- 国の補正予算を活用した給食調理室における熱中症対策と計画的な冷房整備
- 新型コロナウイルス感染症に伴う休校中に実施したオンライン学習の成果と課題 など

産業市民委員会

- 米百俵フェスや米百俵まつりの開催の見通しと市のイベント開催の基準
- ごみの収集運搬委託業者に新型コロナウイルス感染者が発生した場合の事業継続体制
- アフターコロナを見据えた市内企業のデジタル化促進への支援策
- 市の観光における山古志の牛の角突き的位置づけ
- 道の駅等の売り上げ減少と関係事業者への国の持続化給付金の支給
- ビジネスサポート事業の現在の応募状況と評価、2次募集の見直し など

建設委員会

- 長岡版広域道路ビジョンにおける左岸バイパスの位置づけ及び当該事業の進捗状況
- 台風第19号による被害を踏まえた浸水対策の状況
- 大手通坂之上町地区市街地再開発事業における開業予定クリニックの誘致経緯
- 市道管理における包括的管理業務委託と従来の個別発注方法の違い及び制度導入の効果と問題点
- 県道柏崎高浜堀之内線（親沢工区）の整備状況と安全対策
- 市営駐車場の新型コロナウイルス感染症による影響と市の対応
- 新型コロナウイルス感染症に対する上・下水道施設の管理体制 など

令和元年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは、議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。長岡市では、議員1人当たり月額6万円を会派に交付しています（会派に属していない議員は、所属議員が1人の会派を結成しているものとみなして交付しています）。

平成28年度分以降の政務活動費については、収支報告書のほか領収書等の証拠書類の写しもアオーレ長岡（東棟）3階の庶務課情報公開コーナーで閲覧等が可能です。証拠書類の写しの閲覧等には、届出が必要となりますので、庶務課職員にお声掛けください。

なお、令和元年度交付分（5～3月分）から、収支報告書等の写しをインターネットでも公開しています。

■令和元年5月～令和2年3月

会派名	市民クラブ (16人)	長岡令和クラブ (4人)	民成クラブ (3人)	長岡市公明党 (3人)	共産党市議団 (2人)	無所属 (諏佐武史)	無所属 (松野憲一郎)	無所属 (桑原望)	無所属 (水科三郎)	無所属 (関貴志)	無所属 (丸山議長)	合計
収入の部												
政務活動費①	10,620,000	2,640,000	1,980,000	1,980,000	1,320,000	660,000	660,000	660,000	660,000	660,000	600,000	22,440,000
雑入②	24	2	0	3	1	0	2	0	2	2	1	37
合計③	10,620,024	2,640,002	1,980,000	1,980,003	1,320,001	660,000	660,002	660,000	660,002	660,002	600,001	22,440,037
支出の部												
調査研修(研究)費	7,573,541	1,929,165	387,557	930,275	289,946	338,735	244,564	289,820	195,925	206,241	349,221	12,734,990
広報広聴費	127,325	197,353	410,456	114,730	655,213	24,369	0	204,130	0	11,121	0	1,744,697
要請・陳情活動費	0	0	0	62,130	0	0	0	0	0	0	0	62,130
資料費	501,466	299,458	137,934	211,129	208,334	116,499	16,000	68,518	31,777	71,757	96,756	1,759,628
情報通信費	1,555,300	129,465	617,673	403,197	84,966	83,988	23,745	69,703	100,168	81,025	103,609	3,252,839
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費	862,392	84,561	426,380	258,542	80,956	84,667	0	27,456	126,847	61,346	6,333	2,019,480
合計④	10,620,024	2,640,002	1,980,000	1,980,003	1,319,415	648,258	284,309	659,627	454,717	431,490	555,919	21,573,764
収支差引差額③-④	0	0	0	0	586	11,742	375,693	373	205,285	228,512	44,082	866,273

※収支差引残額については、市に返還されます。雑入の内訳は、全て預金利息です。

特別委員会の活動を報告します (6月定例会において各委員長から報告された中間報告の要約です。)

克雪・危機管理・防災対策特別委員会

本委員会では、昨年7月24日及び11月12日に会議を開き、道路除雪計画や原子力安全対策に関する取り組みなどについて、理事者から説明を受け、議論を交わしてきました。

除雪の関係では、将来的にも安定した除雪体制を維持するため、産・学・官が連携して、昨年8月に長岡市除雪イノベーション研究会を立ち上げ、新技術の実証実験などを行っていく旨の説明がありました。今冬は昨冬に続き、近年まれに見る少雪であったため、十分な検証結果が得られなかったようですが、継続して取り組みをお願いしたいと思います。

原子力安全対策については、市町村による原子力安全対策に関する研究会の取り組み内容や、市政出前講座の実施状況などについて説明を受けました。

また、今年1月28日及び29日までの2日間にわたり、東京電力福島第一原子力発電所及び廃炉資料館、いわき市役所や福島県庁で行政視察を行い、廃炉作業の現状や課題、避難計画の実効性向上のための取り組み等について視察しました。

市民の安全・安心を確保するため、理事者とともに災害に強いまちづくりに向けて取り組んでいきます。



いわき市役所における行政視察

大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会

本委員会では、昨年7月24日に会議を開き、大河津分水路及び長岡東西道路の整備について理事者から説明を受け、議論を交わしてきました。また、昨年11月13日には、燕市議会と合同で大河津分水路改修事業の現地視察を行いました。

大河津分水路改修事業については、用地取得が順調に進み、現在は新第二床固の本体工事や野積橋架け替え工事、山地部掘削が進められています。その中で、昨年10月に発生した台風第19号の際には、信濃川の大規模氾濫を防ぐ役割を果たしたものの、決壊が懸念されるほど危険な水位に達したことで、この改修工事の重要性について改めて認識しました。

長岡東西道路については、これまでの整備効果を最大限に発揮するためには一日も早い国道17号への接続が必要です。

国道17号高畑南交差点から宮内町交差点までの560メートルの区間については、県が事業主体となり、暫定2車線での供用を目指し、事業が進められています。

両事業の早期完成に向け、今後さらに関係機関とともに努力してまいります。



にとこみえ〜る館における現地視察

まちづくり・新エネルギー対策特別委員会

本委員会では、公共交通政策の在り方をテーマに、昨年7月23日以降、協議を重ねてきました。

これまで公共交通空白地域を中心に本市が取り組んできた公共交通政策について、十分な成果があるとは言い難い現状に対して、住民ニーズの把握と地域の実態に即した取り組みという2つの観点から提案をしました。

前者については、行政から、地域での話し合いにコーディネーター役を派遣し、各地域での課題整理を行い、住民と協働で公共交通施策に関する検討ができる体制の構築が必要と考えます。

後者については、各地域により公共交通の課題が異なることから、行政の主体的な関与の下に民間事業者との連携も視野に入れ、地域に寄り添った施策を検討する必要があると考えます。

公共交通は、高齢者の運転免許証自主返納の機運の高まりや、従来の枠組みにとらわれない新たな技術開発など、様々な動きがある中で、住民と一体となって地域の実情に合わせた移動手段を検討し、地域内の生活交通の充実を図っていただきたいと思います。



委員協議会の様子

人口減少対策特別委員会

本委員会では、人口減少を踏まえた小・中学校の在り方をテーマに、小・中学校の統廃合及び廃校となった学校の利活用について、昨年7月23日以降、議論を重ねてきました。

前者については、市教育委員会が議論を進めることに対して、より積極的な方針を示したことを評価します。今後も、子どもの教育という観点を最優先に、財政面や施設管理、地域づくりの観点から、教育委員会だけでなく市全体で取り組んでいく必要があると考えます。その際、適正規模の検討や地域との関わり方、都市計画における適正配置を含んだ検討が必要と考えます。

後者については、まずは行政としての利活用を検討するという現状に対し、スピード感を持って取り組む仕組みの必要性を提案しました。また、地域での活用を考えると同時に、外部からの活力を取り入れることの検討が必要と考えます。

人口減少が進む中でも持続可能な行財政運営の実現に向け、今後も提案を行ってまいります。



委員協議会の様子

ホームページで議会情報を発信中!



長岡市議会

検索



本会議・常任委員会・特別委員会は、市ホームページで生中継・録画中継しています。なお、本会議・常任委員会は、ケーブルテレビでもご覧いただけます。再放送は会議開催当日の午後7時から放送します。

議会の日程や議案等の概要、会議録なども載っていますので、ぜひアクセスしてください。

9月定例会の日程

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	14	15	16	17	18
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	月	火	水	木	金
議会運営委員会	本会議(招集日)	本会議(※)	本会議(※)			文教福祉委員会	産業市民委員会	建設委員会	総務委員会	特別委員会	特別委員会	特別委員会		本会議(最終日)

(※) 9月2日(水)～4日(金)の本会議は、一般質問者の人数により日程が短縮される場合があります。

- 本会議
 - 開会 午後1時
 - 傍聴受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて
 - 定員 40人、車いす席2人、親子傍聴席10人
- 議会運営委員会
 - 開会 午前11時30分
 - 傍聴受付 午前11時からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
 - 定員 12人
- その他委員会
 - 開会 午前10時
 - 傍聴受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
 - 定員 12人

【市議会を傍聴される方へのお願い(新型コロナウイルス対策について)】

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため、次のことをお願いいたします。

- 1 傍聴席入り口前のアルコール消毒液にて手指の消毒をお願いします。
- 2 マスクの着用をお願いします。
- 3 他の傍聴者と間隔を空けて着席ください。

なお、発熱や咳、風邪の症状がある場合は、傍聴をご遠慮ください。

会派別議員名簿(7月31日現在)

市民クラブ	加藤 尚登 大竹 雅春 多田 光輝 荒木 法子 長谷川一作 古川原直人 松井 一男 高野 正義	池田 和幸 深見 太郎 豊田 朗 田中 茂樹 丸山 勝総 関 正史 酒井 正春 五井 文雄
長岡令和クラブ	山田 省吾 神林 克彦	関 充夫 杵淵 俊久
民成クラブ	五十嵐良一 小坂井和夫	加藤 一康
長岡市公明党	藤井 達徳 中村 耕一	池田 明弘
共産党市議団	笠井 則雄	諸橋 虎雄
無所属	A 諏佐 武史	
	B 松野憲一郎	
	C 桑原 望	
	D 水科 三郎	
	E 関 貴志	
	F 丸山 広司(議長)	

会派別議案等賛否一覧表

5月臨時会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案等	市議クラブ(16) ^{*1}	長岡令和クラブ(4)	民成クラブ(3)	長岡市公明党(3)	共産党市議団(2)	無所属					議決結果
						A	B	C	D	E	
市長提出議案											
専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
補正予算											
令和2年度一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和2年度国民健康保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
条例 一部改正											
市税条例 ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※1 長谷川一作議員は欠席

6月定例会

※2

市長提出議案等	補正予算	令和2年度一般会計(6月16日議決分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		令和2年度一般会計(6月29日議決分) ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	条例 一部改正	コミュニティセンター条例 ほか5件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		町(字)の区域及び名称の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	その他	市道路線の認定及び変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		契約の締結(防災行政無線・FMラジオ方式移行工事) ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		財産の取得(水槽付消防ポンプ自動車等2台) ほか6件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	人事	財産の処分(地方卸売市場流通業務用地)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		農業委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
			人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※2 荒木法子議員・長谷川一作議員は欠席

5月

5月臨時会	14日	議会運営委員会
		本会議
		文教福祉委員会
		産業市民委員会
		建設委員会
		総務委員会
		人口減少対策特別委員協議会
19日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	

6月

6月定例会(14日間)	1日	議員協議会
	12日	議会運営委員会
	16日	議会運営委員会
		本会議(招集日)
		文教福祉委員会
		産業市民委員会
		建設委員会
		総務委員会
	17日	本会議
	18日	本会議
	19日	人口減少対策特別委員会
		まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会
	29日	議員協議会
		建設委員会
産業市民委員会		
文教福祉委員会		
産業市民委員会		
建設委員会		
総務委員会		

7月

7月臨時会	14日	克雪・危機管理・防災対策特別委員会
		大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会
7月臨時会	31日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会
		議会運営委員会
		本会議
		文教福祉委員会
		産業市民委員会
		建設委員会
		総務委員会
8月	28日	人口減少対策特別委員協議会
		議会運営委員会

7月臨時会

市長提出議案	補正予算	令和2年度一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
--------	------	-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

各種行政委員の選任・推薦に同意

6月29日の本会議最終日において、農業委員会委員24人(新任10人・再任14人)を選任することに同意しました。また、次の方を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

○人権擁護委員 佐々木 信和 氏(再任) 清水 正朋 氏(再任) 林 恵子 氏(再任)

市議会の活動状況

8月1日 長岡市平和祈念式典に出席



式典であいさつする丸山議長

長岡市主催の「長岡市平和祈念式典」がアオーレ長岡のアリーナを会場に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため例年より規模を縮小して開催されました。

県内唯一の大規模戦災都市として戦没者を追悼し、平和の尊さを発信するため、式典の始めに黙とうがささげられました。その後、丸山議長のあいさつや戦災殉難者遺族代表などによる献花、長岡空襲体験者のお話や中学生による非核平和都市宣言の朗読が行われました。

